

No. 07-33 講習会
非常時のメカトロニクス
(情報・知能・精密機器部門 企画)

開催日 2007年5月25日(金) 10.00～17.00

会場 日本機械学会 会議室

[東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階/JR総武線「信濃町」駅前徒歩1分(JR信濃町駅は総武線のみ停車)]

趣旨

知能機械システムやメカトロニクス技術の発展は目覚しく、様々な分野で活用されています。特に災害時や緊急時等の非常時には、人間の能力を超えた知能機械システムやメカトロニクス技術が威力を発揮することが期待されています。この講習会では、知能機械システムやメカトロニクス製品の開発に携わっている技術者を対象に、現在どのような研究が行われているのか、最新技術を用いることによりどのような事が可能になるのかについて、特に認証、探知、安全・安心、災害救助、機械知能をキーワードに分かりやすく解説します。

プログラム

2007年5月25日(金)

10.00～10.10 はじめにー非常時のメカトロニクス

佐賀大学 木口量夫

10.10～11.10 触感覚の定量化とその工学的応用

名古屋大学 大岡昌博

11.10～12.30 施設、構造物の倒壊事故の危険を感知するメカトロニクス

三重大学 野村由司彦
アイレック技建(株) 須藤佳一

(昼食 1時間)

13.30～14.30 安全・安心と自動車技術

日産自動車(株) 高橋 宏

14.30～15.00 巡回警備ロボット・セコムロボットXとセンシング技術

セコム(株) 藤井清人

15.00～16.00 I TとR Tの融合による国際救助隊の構築を目指して

電気通信大学 松野文俊

16.00～16.30 パワーアシストロボット

佐賀大学 木口量夫

16.30～17.00 おわりにー質疑応答

佐賀大学 木口量夫

定員 60名、申込み先着順により満員になり次第締め切ります。

聴講料

会員20,000円(学生員4,000円)、会員外30,000円、一般学生6,000円。いずれも教材1冊分代金を含みます。開催日の10日前までに聴講料を着金するようにお申し込み下さい。以降は定員に余裕がある場合、当日受付をいたします。なお、聴講券発行後は取消しのお申し出がありましても聴講料は返金できませんのでご注意願います。

教材

教材のみご希望の方、または聴講者で教材を余分にご希望の方は1冊につき、会員3,000円、会員外4,000円にて頒布いたします。講習会終了後は教材を販売いたしませんので、開催前に代金を添えて予約申し込み下さい。講習会終了後に発送します。

申込方法

本会ホームページのオンライン申込み (<http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm>) をしていただくか、同ホームページの行事申込書フォーム (<http://www.jsme.or.jp/gyosan0.htm>) をダウンロードしていただき、申込者1名ごとに必要事項を記入の上代金を添えてお申し込み下さい。

(担当職員 井上 理)